

自然豊かな出雲を生きかし

出雲市トキ保護増殖事業基本計画を策定

市では、佐渡トキ保護センター（新潟県佐渡市）で飼育されている“トキ”の分散飼育の受け入れを目指しています。

受け入れにあたって、飼育の実績を作り、飼育員を養成するため、トキの近似種の飼育施設を建設します。

今回は、トキの保護増殖事業についてお知らせします。



中国漢中市の陝西トキ救護飼育センターには、出雲市が飼育費用を支援しているトキ“豊豊（ホウホウ）（写真右から2羽目）”と“心心（シンシン）（同3羽目）”がいます

トキ保護増殖の目的

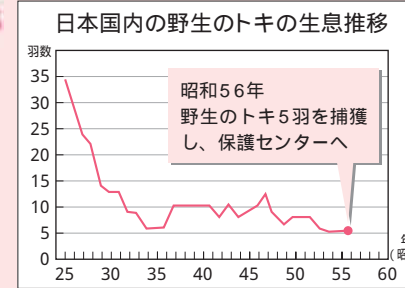
国は、これまで新潟県の佐渡島だけでトキの繁殖・飼育を行ってきました。しかし、1か所にいることで、鳥インフルエンザなどにより絶滅してしまう恐れがあることから、佐渡以外での分散飼育が検討されています。

出雲市では、この国の計画に参画し、トキの安定的存続に貢献するため、トキ保護事業に取り組むことにしました。

「環境の世紀」と言われる今日、行政と市民が共同して地球規模の環境問題に取り組みなくてはなりません。環境への負荷を低減し、豊かな自然とのふれあいを保つことや美しい海・山・川・湖を後世に引き継ぐ必要があります。

世界的に希少な鳥トキ

かつて、日本をはじめ東アジアの広い範囲で空を羽ばたいていたトキ。環境の変化とともに急激に少なくなり、一時は日中両国で十数羽まで減少しました。その後、両国の協力により約800羽まで回復し、今では両国友好交流の象徴ともなっています。日本国内でも佐渡トキ保護センターで約80羽飼育されています。



そこで、出雲市の美しく豊かな自然環境の中でトキを飼育することに、トキをシンボルとして出雲市の自然環境を守り、安全で安心な生活環境を保ち、「人とトキをはじめとする野生動物が共生できる地域環境」を市民とともにつくることを目指します。

トキと出雲のつながり

日本で最後まで野生のトキが生息していたのは新潟県佐渡島ですが、大正12年の文献に、宍道湖へのトキ飛来が記録されるなど、トキは出雲地方でも生息していました。

一方、世界で唯一野生のトキが生息している中国陝西省漢中市と出雲市とは、平成3年に交流を始め、平成8年には友好都

市協定を締結しました。

以来、訪問団の相互派遣、技術研修生の受け入れ、青少年スポーツや写真・書画を通じた相互交流など、文化、経済、スポーツ、芸術をはじめとするさまざまな分野で幅広い交流を行っています。

また、漢中市洋県にある陝西トキ救護飼育センターでの国際保護鳥トキの保護増殖事業に、市は市民とともに長年にわたり支援・協力を行っています。

トキが美しい 出雲市の空に舞うことを願って

中国陝西 トキ保護観察センター 副主任 出雲市トキ保護増殖事業基本計画策定委員会アドバイザー 路 宝忠さん

出雲市でトキの講演をする路さん（平成17年1月 出雲国際交流プラザ）

トキは人類の友達であり、大自然から人類に贈られた宝です。一時は十数羽まで減少しましたが、その後の日中両国の努力により約800羽まで回復してきました。

これまで、出雲市の皆さんは中国・漢中市でのトキ保護に大きな貢献をしてこられました。山紫水明、自然環境豊かな出雲市において、このすばらしい保護増殖計画が一日も早く実現することを期待しています。

出雲市トキ保護増殖事業基本計画(抜粋)



トキ近似種の飼育施設建設予定地を視察する策定委員会の委員（10月12日 西新町）

出雲市トキ保護センター（仮称）建設地選定

交通の便が良いこと、農業などの影響がないこと、地域の支援協力体制が充実していることなどから、神門地区を候補地に選定。施設は佐渡、漢中のものを参考にし、近似種飼育で得た経験を加味し決定

同センターの運営組織体制

所長、飼育員など5～6人体制とし、近隣の島根県出雲家畜保健衛生所や島根県立家畜衛生研究所をはじめとする国内外の専門機関と協力連携を図る

衛生対策

鳥インフルエンザなどの病原性微生物に汚染されないよう、人や車両の消毒、野鳥対策などを行う

飼育員の養成

平成17年度中にアフリカクロトキ飼育施設を建設し、トキ飼育に必要な経験を積むとともに、国内専門機関から指導を受ける

出雲市トキ保護増殖事業基本計画

平成17年1月に設置した出雲市トキ保護増殖事業基本計画策定委員会（北川泉委員長・15人）では、東京都恩賜上野動物園小宮園長、山階鳥類研究所柿澤研究部長など鳥類・動物保護の専門家や農林業関係者、市民代表などにより検討を重ねてきました。そして、2月16日には答申を市長に提出しました（左欄参照）。

近似種の飼育施設建設に着手

市では、まず、トキに似たアフリカクロトキの飼育に取り組むことにしました。これは環境省からのトキ分散飼育指定

を受けるためには、飼育の実績づくりや、飼育員の養成が必要との意見を受けてのもです。この飼育施設は西新町に建設することにし、2月中に着工します。3月には完成し、実際に飼育を開始するのは4月ごろになる予定です。

トキ保護増殖事業についてのおたずねは
農林基盤課
（2211 内線 5433）